

第一貨物(山形)など3社

合弁会社設立へ

いずれも運送業の第一貨物(山形市、武藤幸規社長)とトナミホールディングス(富山県)、久留米運送(福岡県)は16日、3社の関東―関西間の貨物運送の一

部を担う合弁会社「ジャパン・トランス・ライン」を設立すると発表した。関東―関西間は現在3社がそれぞれにトラックを走らせており、新会社設立により、輸送能力の安定確保や積載効率の向上が期待できる。

社長には第一貨物の坂田昭雄常務が就任予定。第一貨物は主に東北、トナミは

北陸、久留米は九州に拠点が多く、これまでも荷物をリレー方式で運ぶ連絡運輸中継の業務提携によって全国に荷物を届けてきた。3社が所有するトラックの一部を新会社に移し、東京都内に本店を開設する予定。まとめて運ぶことで荷物が一定量になり次第発送できるなど、時間短縮を含め積載効率の向上が可能になる。

資本金は6千万円で、出資比率は第一貨物とトナミが各40%、久留米が20%。今後関東運輸局に認可申請し、許認可後の8月に営業を開始する計画。16日までに新会社設立に関して基本合意した。